

第2回 文化財科学研究発表会

～文化財科学を学ぶ学生の合同研究発表会～

2019年(令和1年)11月2日(土)

於：東京藝術大学 美術学部中央棟 第一講義室

(仮) プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶

13:05～14:15 東京藝術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻 保存科学研究室
13:05～13:15 研究室紹介 教授 稲葉政満
13:15～13:30 「アクリル絵具の光劣化に関する考察」 修士2年 和泉田絢子
13:30～13:45 「螺鈿作品の保存修復に着目した材料学的研究」 修士2年 水上眞琴
13:45～14:00 「金アマルガム鍍金の代替技法」 修士2年 山田高央
14:00～14:15 「三極紙の酸化劣化に及ぼす煮熟剤の影響」 修士2年 曹 智健

14:15～14:35 休憩 (ロビーにてポスター解説)

14:35～15:35 続き
14:35～14:50 「楮紙の湿潤強さに及ぼすヘミセルロースの影響」 博士3年 韓 知佑
14:50～15:05 「肥前陶器に関する材料学的研究」 博士2年 隋 藝博
15:05～15:20 「明治後期の鋼橋に使用された塗装材料」 博士1年 中村 舞
15:20～15:35 「壁画におけるアズライトの緑色化について：光による影響の検討」 博士1年 大迫美月

15:35～15:55 休憩 (ロビーにてポスター解説)

15:55～16:35 東京学芸大学 教育学部 新免歳靖研究室・服部哲則研究室
15:55～16:05 研究室紹介 講師 新免歳靖
16:05～16:20 「明治期に用いられた尾張七宝釉薬の原料
-ドイツ人化学者ワグネルとの関連性を踏まえて」 修士3年 高橋佳久
16:20～16:35 「ウズベキスタン、アルク城遺跡出土ガラスの化学組成の検討」 修士2年 遠藤綾乃

16:35～17:15 筑波大学大学院人間総合科学研究科 世界遺産専攻 松井敏也研究室
16:35～16:45 研究室紹介 教授 松井敏也
16:45～17:00 「木製の資料保存箱の調査と状態について」 修士2年 久我昌江
17:00～17:15 「石造文化財修復材料の擬岩に関する研究
-擬岩を起因とする劣化予防のための検討-」 修士2年 小柴まりな

17:15～17:25 閉会の挨拶